

穴を開けて
簡単補修

床鳴り補修キット ST

床の浮きを
静める

フロアの反りや浮きによる「根太鳴り」専用補修剤 充填剤・硬化促進剤を注入するだけ

製品の特長

■根太鳴り専用

床鳴りの 2 大原因「実鳴り」と「根太鳴り」の内、床材の変形が原因で起こる床鳴り「根太鳴り」用の補修セットです。期せずして発生するきしみ音の対策、フローアや階段の「反り」や「浮き」によるきしみ音を直します。根太鳴りの原因である根太と床材の隙間にキリで小さな穴を開け、注入器で充填剤を注入するだけ。発泡した充填剤が隙間に入り込み、きしみ音がピタッと止まります。目立たない方法で補修することが可能です。

■セットの中身

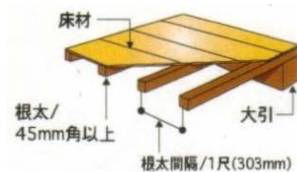
- ・RP 充填剤(接着剤) 125g×2 本
(成分:ウレタンプレポリマー・メチルエチルケトン・他)
- ・硬化促進剤 55ml×1 本
(成分:メチルエチルケトン・スズ系硬化促進剤・他)
- ・洗淨剤 60ml×1 本
(成分:メチルエチルケトン・他)
- ・注入器 25ml×2 本
- ・注入針 <1.25mm×38mm> 3 本
- ・穴あけキリ(ドリル) <1.5mm> 1 本
- ・カップ 100ml×2 個
- ・ウエス 1 枚
- ・攪拌棒 1 本
- ・ゴム手袋 1 個
- ・マスキングテープ 1 個
- ・穴埋め補修剤 茶系 3 色
- ・ヘラ 1 個



参考資料

◆根太張り工法◆

木造の戸建住宅の床を貼る最も一般的な施工方法です。根太に直交させるように渡したフローリングを釘で固定する方法。



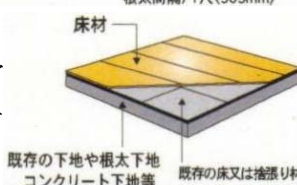
◆捨貼り工法◆

根太式工法にコンパネ(構造用合板)やパーティクルボード等を貼った上にフローリングを貼る方法。



◆置敷工法◆

フロア裏面に下地と馴染み易くする為の処理をしている為、下地とフロア材裏面の接着は必要なく、実部のみ接着剤を使用して施工する方法。



ご使用方法

- ①床鳴り、床浮きしている箇所を特定します。床鳴りする箇所の中心部から半径 40～50cm の位置に、下地の状況に合わせて穴あけドリルで穴を開けます。床鳴りの中心部を含め 3～4 箇所 1.5～2φ の穴を斜めに開けます。(インパクトドライバーの使用は穴あけドリル破損の原因となりますので使用しないで下さい。)
- ②充填剤がもれないよう、穴にマスキングテープ(セロテープ)を貼ります。
- ③RP 充填剤と硬化促進剤をカップに入れよくかき混ぜ充填剤を作ります。この時 RP 充填剤と硬化促進剤は 10 対 1 の割合です。<RP 充填剤 10:硬化促進剤 1>
- ④充填剤を注入器先端から吸い上げ、開けた穴にゆっくりと注入します。充填剤が入りにくくなったら注入完了です。1 箇所に注入する充填剤は約 20ml が目安です。平均的に注入して下さい。充填剤が漏れた場合は洗淨液を含ませたウエスで拭き取って下さい。
- ⑤注入完了後、注入箇所に重りを置き、4～5 時間程放置して充填剤と床材を定着させます。(下地状況により注入量が異なります。効果が無い場合は上記作業を繰り返して下さい。)必要により穴埋め補修剤をヘラで切り取り、開けた穴を埋めて完成です。1 色で色が合わない場合は指で練って色混ぜが可能です。



ご注意事項

- ◆床材の変形が原因で発生する「根太鳴り」の補修です。その以外の場合は効果がありません。
- ◆「実鳴り」が原因の床鳴りには「床鳴りストップ」をご利用下さい。継ぎ目に注入するタイプです。
- ◆作業時は火気厳禁の上、手袋をご使用下さい。
- ◆使用後は必ず注入器と注入針は洗淨剤を少量吸い上げて洗淨して下さい。
- ◆中栓と蓋を強く閉めて、直射日光や高温多湿を避けて冷暗所に保管して下さい。
- ◆お子様の手の届かない所で保管して下さい。
- ◆標準使用量◆1 セットで 15～20 箇所の補修ができます

■販売店



東洋産業株式会社

〒370-0021 群馬県高崎市西横手町 459-39

☎0120-611-466 / 受付:(月)～(金)9am～4pm

FAX 027-350-7200 / <http://www.toyo-sangyo.com>